

世界の若き才能が開く

—第6回仙台国際音楽コンクール

平成13年に創設し、3年ごとに開催している仙台国際音楽コンクール。回を重ねるごとに審査のレベルは高まり、世界中の音楽関係者から高い評価を得ています。第6回コンクールは5月21日に開幕。「楽都仙台」で繰り広げられる若い演奏家たちの熱演に、会場で温かい拍手を送りましょう。



前回バイオリン部門で優勝したリチャード・リンさん（右下）とピアノ部門で優勝したソヌ・イエゴンさん（左下）

協奏曲中心のコンクール

仙台国際音楽コンクールは、バイオリンとピアノの2部門で開催されます。このコンクールの大きな特徴は、課題曲の中心が協奏曲であること。10歳代から20歳代の若い出場者たちとオーケストラとの共演を、世界的に活躍する音楽家の方々が厳正に審査します。

コンクールは予備審査・予選・セミファイナル・ファイナルで構成。書類と動画による予備審査は1月に実施されており、2月15日に出場者が発表されます。

5月21日から始まる本審査の予選では、バイオリン部門は独奏および室内アンサンブルとの共演、ピアノ部門は独奏で審査が行われます。予選を通過した出場者は、セミ

ファイナル、ファイナルへと進み、オーケストラ（仙台フィルハーモニー管弦楽団）と共演します。ファイナルの翌日には、1位から3位の入賞者によるガラコンサートを開催し、コンクールを華やかに締めくくります。

世界的な知名度も上昇

今回のコンクールには、31の国と地域から、全体で370人の応募がありました。回を重ねるごとに応募者数は増加傾向にあり、世界的な知名度も上がってきています。

震災以降2度目の開催となる今回のコンクール。復興が進む仙台・東北の姿を国内外に発信する機会とするともに、世界中から集まる若い音楽家たちの競演を共に楽しみましょう。

コンクールの運営では、第1回の市民ボランティア

コンクールの運営では、第1回から多くの市民ボランティアが活躍。今回も約300人の皆さんが、準備の段階から支えます。

ボランティアは「会場運営サポート」「出場者サポート」「広報宣伝サポート」「ホームステイ受け入れ」の四つの部門で構成。市民ボランティアによる温かいおもてなしは、出場者や審査委員から好評をいただいております。コンクールの運営を支える大きな柱となっています。



「せんだい街かどスナップ写真コンテスト」の作品募集

コンクール開催期間中、市民ボランティアが運営する交流サロンに公募で集めた写真を展示し、来場者が投票するコンテストを行います。

テーマは「仙台おすすめスポット 申市役所本庁舎1階市民のへや、区役所総合案内などで配布する応募用紙（ホームページ<http://sin-city.com>）からも取り出せます」に写真を添えて4月11日までに

演奏者の実力を試すのに最適な課題曲を用意

ピアノ部門審査委員長
野島稔さん



協奏曲を課題曲の中心とするコンクールは世界中にいくつかありますが、仙台国際音楽コンクールはその中でトップクラスであると感じています。実直な運営、若い才能を発掘しようという姿勢が、世界中の若い演奏家、そして指導者に伝わっているのだと思います。今回の課題曲の特徴は、セミファイナルでベートーベンのピアノ協奏曲の第3番か第4番のどちらかを選択し演奏するところ。どちらの曲も聴く度に新しい発見があり、演奏する人によって解釈が変わってくるので、出場者ごとの表現の違いがよく分かると思います。審査をするに当たっては、できるだけその出場者の良いところを見るようにしています。その方のピアニストとしての現在の完成度と、今後どれだけ音楽家として伸びていくかの可能性を掛け合わせて審査しています。今回のコンクールは、これまでの中でベストと言える課題曲となっています。一段と充実した内容で、格調の高いコンクールを楽しんでいただけるのではないかと思います。

第1回コンクールでの優勝が大きな転機に

バイオリン部門審査委員・第1回仙台国際音楽コンクール優勝
ホアン・モンラさん



第1回仙台国際音楽コンクールで初めて仙台の街を訪れ、世界中の異なる地域から集まった若い演奏家と共に競い、お互いに刺激を受け、そして友情を育むことができました。この翌年にパガニーニ国際バイオリンコンクールで優勝することができたのですが、仙台での優勝が精神的に大きな自信と支えになったと思います。コンクールへの出場により、審査委員やホストファミリーなど多くの方と知り合いました。彼らの素晴らしいおもてなしのおかげで、私は来仙するたびに故郷に帰ってきたように感じます。東日本大震災後、復興コンサートのために来仙した際は、会場で多くの友人たちに会えて、彼らの心の強さに感動しました。このコンクールは、仙台の名前や歴史・文化について世界から注目を集めることができる素晴らしい機会だと思います。今回、審査委員という立場で招待いただいたのは本当に名誉なことです。多くの才能ある若い演奏家に出会えること、そして彼らが仙台から世界の舞台へと飛躍することを楽しみにしています。

コンクールのスケジュール

バイオリン部門 (応募者数100人)	ピアノ部門 (応募者数270人)
1月中 書類・動画による予備審査	
2月15日 出場者発表(各部門36人程度)	
5月21日~23日 予選 (おおむね36人)	6月11日~13日 予選 (おおむね36人)
5月27日~29日 セミファイナル (12人)	6月17日~19日 セミファイナル (12人)
6月2日~4日 ファイナル (6人)	6月23日~25日 ファイナル (6人)
6月5日 入賞者記念 ガラコンサート	6月26日 入賞者記念 ガラコンサート
●会場=日立システムズホール仙台	

チケットは2月12日(金)発売

※いずれも●会場=日立システムズホール仙台 ●チケットは、日立システムズホール仙台、イズミティ21、仙台三越、ローソンチケット、チケットぴあで発売

◆仙台国際音楽コンクール

	バイオリン部門	ピアノ部門	座席	料金
予選	5/21(土) 12:30~	6/11(土) 10:00~	全席自由 (日付指定)	1,000円
	5/22(日) 12:30~	6/12(日) 10:00~		
	5/23(月) 10:00~	6/13(月) 10:00~		
セミファイナル	5/27(金) 18:00~	6/17(金) 18:00~	全席指定	S席3,000円
	5/28(土) 14:00~	6/18(土) 14:00~		A席2,000円
	5/29(日) 14:00~	6/19(日) 14:00~		
ファイナル	6/2(木) 18:30~	6/23(木) 18:30~	全席指定	S席3,000円
	6/3(金) 18:30~	6/24(金) 18:30~		A席2,000円
	6/4(土) 15:00~	6/25(土) 15:00~		
入賞者記念 ガラコンサート	6/5(日) 14:00~	6/26(日) 14:00~	全席指定	S席4,000円 A席3,000円

◆関連事業「審査委員によるマスタークラス」

全国から公募で選ばれた受講生に対する公開レッスンを聴講できます。世界の第一線で活躍する演奏家によるレッスンを、ぜひご覧ください。

	日時	料金
バイオリン部門	5/30(月) 13:00~20:10	聴講券 (日付指定)
	5/31(火) 13:00~20:10	
ピアノ部門	6/20(月) 11:00~20:40	一般 1,000円、 学生 500円
	6/21(火) 13:00~20:10	

この特集に関するお問い合わせは
仙台市市民文化事業団コンクール
推進課 ☎727・1872